

第8回政策情報学フォーラム 概要

テーマ: 「原発事故の調査報告書はどのように活かされるのか?」

◆ 開催日時: 2013年7月13日(土) 14:00 -

◆ 開催会場: 立命館東京キャンパス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー8階 3号・4号教室
3階までエスカレーターで上がり、3階受付で入管手続きをしたのちエレベーターで
8階までおあがりください。(http://www.ritsumei.jp/tokyocampus/t02_j.html)

◆ 参加申し込み先: 政策情報学会事務局

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学仲上健一 研究室内

E-Mail: API-jimu@cuc.ac.jp メールで申し込みをお願いします。

建物のセキュリティルールの関係上、事前申し込み者以外は入館できません。

◆ 政策情報学フォーラムへのお誘い

フォーラムを通じて、領域を越境した議論を行い、全ての参加者に有益な成果をあげられることを期待しております。

◆ 政策情報学フォーラムの目的

本フォーラムの目的は、議論を行う上で時間的制約などがある研究大会などのイベントとは異なり、小規模で政策情報学に関連した様々なテーマを取り扱い、時間をかけた密度の高い議論を行っていくことにあります。また、さまざまな異なる立場の交流と協働の「開かれた対話と創造の場」として構想されており、現実のさまざまな政策問題を探求、検討し、実際にその解決策を提示しながら、社会の持続的発展に寄与することを狙いとしております。

◆ 今回のフォーラムの特徴

前回に引き続き、原発事故を取り上げることとなりますが、今回は4つの事故報告書が提出されたあとを受け、そこに盛られた調査内容が、どのように原発の将来のリスクマネージメントに活かされるのかを問うことにします。複数の事故報告書が並列的に提示され、しかもいまのところ、報告されるままで将来の政策形成にフィードバックされる様子はありません。そこで、政府事故調の技術顧問であった安部誠治教授をお迎えし、将来の政策形成につながる形で、事故報告書の政策情報を読み解くことにします。

14:00-14:20 歓迎挨拶・フォーラムの趣旨説明

政策情報学会会長 中道寿一

14:20-16:20 話題提供および討論会: 「原発事故報告書はどのように活かされるのか?」

コーディネーター: 竹下 賢 (関西大学法科大学院教授)

話題提供: 安部誠治 (関西大学社会安全学部教授; 元政府事故調技術顧問)

16:20-16:30 休憩

16:30-16:50 討論のまとめと各種質疑に対する応答

16:50-16:55 閉会の辞

◆ 懇親会 (17:00-19:00)

サピアタワー内のトラットリアパピミラノにて、懇親会を実施いたします。懇親会参加ご希望の方は、フォーラム申し込みと同時に申し込みください。